

うちなだのボランティアだより

平成20年 6 月・No. 40



ね お 合 歡 の 木

発行 内灘町ボランティアセンター

TEL 076(286)6953

<http://www2.spacelan.ne.jp/~uchisyakyo/>



ボランティアの広場

「育てよう 未来へと続く 奉仕の心」



内灘ライオンズクラブ

会長 丸岡 健二



「明日の内灘、まちづくりへの提案」をテーマにライオンズクラブ主催で、中学生が日頃考えていることや、将来の夢や希望を発表し、自主・自立心を育てるための作文コンクールを開催しました。そして次世代を担う子供たちのメッセージを多くの町民に理解して頂くために応募24作品の中から、優秀作品4点を選抜し、3月30日 文化会館にて発表と朗読をしてもらいました。

その中で最も多く取り上げられたのは、環境美化とゴミ問題であったように思います。自然破壊、緑化問題など今抱えている社会問題にも大きな関心を持っていてくれることを嬉しく思いました。当日、会場に足を運んでくださったライオンズクラブ会員、町民の皆さんも中学生の作文を聞き、とても感動していただきました。当日聞けなかった皆様にも是非読んでいただけるようにしたいと思います。

彼らの思いを受け止め、協力して自分たちのできることを少しずつやっていく時、ボランティアの心が大事だと思います。見返りを求めないということがボランティア精神と聞いておりますが、自分の力がどれだけ社会に必要とされているのか試すのも、ボランティアをすることで確認することがあります。何かをするために、自分にしか出来ない何かを咲かせて見たいが為にこの世に生を受けたと思えば、前に進む気持ちや、活力も湧いてくる様な気がします。

私に出来ることのひとつに、ジャパンテントの世界各地からやってくる留学生の受け入れがあります。これまでも多くの留学生との出会いがありました。妻はいまだに連絡を取り合っているようです。第14回ジャパンテントの際の韓国人留学生と、今年輪島で再会しました。言葉でのコミュニケーションは難しいながらも楽しい時を過ごすことが出来ました。異国の若者たちとのふれあいの中で、挨拶にしても礼儀正しく、目上の人を敬う心もち、日本人が忘れかけた古き良き心を持った若者が多くいることに驚きます。そしてもっと日本の良いところを理解してもらえるお手伝いが出来ればと思っています。

内灘の若者たちが、自分たちの故郷を愛し、自分たちの出来ることを、少しでも故郷の為にやっといこうとする力に期待し、一緒に協力してやっていきたいと思っています。

内灘が好き

わたしたちに出来ることは・・・

「明日の内灘・まちづくりへの提案」

中学生作文コンクール より (大意)

「内灘の自然という名の宝物」

中嶋 慶悟さん



小学5年生の夏に自由研究で河北潟を調べ、その時ビンの中にすくい上げた、汚く濁りヘドロのようなものが浮いた水を見て驚きました。「様々な生命であふれていた河北潟を少しでも取り戻したい。他の市町とも協力して、もっときれいにしていって欲しい」と思います。

かつて飛砂と闘い砂防林を作り続けてきた人々の気持ちを受け継ぎ、減ってしまった緑を増やして、何よりも自然を大切にす町にしていって欲しいと願っています。

「私達の未来の町」

菊池 郁美さん



内灘の良いところは、自然が多い町、サンセットブリッジなど内灘特有の観光スポット、そしてなにより町民が元気なところです。改善点は「河北潟」のことです。その原因は生活排水と河北潟周辺に捨てられる大量のゴミだと思います。私たち内灘町民が自分たちの手で町を汚してしまっているように思います。だから 河北潟を昔のようにきれいにするために、環境を守る為に自分たちの手で出来ることを少しずつ町民一人ひとりの心がけと協力が必要だと思います。

「あいさつができる町」

森脇 菜穂さん



学校へ行く途中、見知らぬおばあさんに「いってらっしゃい」と声をかけられたことから、あいさつについて考えるようになりました。そして職場体験で行ったレストランであいさつがとても大切であること、あいさつにもいろいろな種類があることを知り、お客さんに「ありがとう」と返されたら店員さんはうれしくなることを経験しました。そんな体験から、まずはあいさつをし、あいさつを返すことでお互いが気持ちよくなることを知ります。だから町じゅうのみんながお互いにあいさつをすれば、気持ちのいいまちになる。すばらしいまちになる。でも知らない人にあいさつするのは恥ずかしいどうすればいいだろう。最初はともだちと一緒にやればできるのではないかと思います。

「私たちの町」

島田 祐衣さん



内灘町には自然がいっぱいになってほしいです。地球温暖化のため異常気象や暖冬で季節を深く感じられなくなりましたが、花や木も「意思」や「命」をしっかりと持っていると思います。人間の都合というとても迷惑なことで、切り取られたり、汚されたりして困っています。内灘町が先頭を切って自然を再生する活動を広げ、日本だけではなく世界にも広がってほしいです。私自身、四季を通してこの町の自然に助けられることが多いです。私は本当にこの町が大好きです。これから先、あまり近代化されるより人と人のつながりがあり、犯罪のない、人が笑顔でいられる町を望みます。

■内灘町にもまだ自然が多くあり、当たり前前と感じていた風景が素直な気持ちによって気付かされた。湯が笑い、海も笑い、子どもたちが笑えるふるさとしたいです。(中村進教育委員長)

■内灘町を愛し、とても誇りに思い、小さなことでも自分達でできることをしたいという気持ちを知り、感動し、たくさん拍手を送りました。(二町民)

<4人の中学生にインタビューして・・・>

✕ 河北潟や砂丘、内灘の宝物と言われるような美しい自然を遺したいと思っている中嶋君、一緒に守り創っていかねければと思いました。

✕ 内灘町の人々がなごやかにあいさつを交わしている情景が目につきます。森脇さんの意見に共感あいさつを見直しました。

✕ 今の自分には、大きなことは出来ないが、出来る範囲で出来ることを、普段の生活の中で少しずつやっていきたいと言う菊池さん。自分たちの町をしっかりと見つめていることに驚き嬉しく思いました。

✕ 銀杏の木々や植物と会話をしながらの通学が楽しみだとも言う島田さんは将来、高齢者の施設などに出かけ、お年寄りのお話し相手や話を聞くなどのボランティアをしてみたいと語る詩人のような中学生でした。



■今の時代、誰もがケイタイやゲームに余念がない。そんな中、中学生の書いた作文を読んで、この子たちが町の様子をよく見、考えているのに驚いた。
“内灘が大好き、宝物にしていきたい”という気持ちがよく伝わってきて、共鳴し頼もしくなった。(一町民)



“こんな人 みい～つけた！”

～ねむの木レポート～



「ビンの上部を電気にすかしてみれば、、、」 浜坂さん（大清台）

大清台の浜坂一雄さん（83歳）は8年以上前から月1度の町会リサイクルに必ず参加し、見分けにくいビンの分別方法（例えば薄い色のビン上部を電気に当ててみるとすぐに何色かわかるそうです）などを伝えています。また、翌朝の後片付けは大清台公民館が町文化会館に隣接しているため、6時には見に行き特に気を配っています。

以前は町会の役員をされ、現在は、老人会「清友クラブ」（浜坂さんが名付け親）のお世話をしている浜坂さん、老人クラブ社会奉仕の日に、ゴミ拾い、松葉の掃除などを率先して



“ゴミ役人” こと浜坂さん

行っています。「花いっぱい活動」では公民館横の街路樹下に色とりどりの花を植え、水遣りもしています。作業時にはヘルメットをかぶり、一輪車をひいてゴミを集め、自ら「ゴミ役人や」と言い、いつもきれいな町をと願っています。

「今年からは、リサイクル時、朝の片付けは当番におまかせし見ているだけや！」とリサイクル活動がしっかり地域に根ざしてきたことがうれしそうでした。（多田 記）

「きっかけは隣人のひとこと」 池田さん（アカシア）

池田叔子さんは町会の婦人部で、隣人から「あなたは料理が好きだから受けてみたら」と勧められ、ふつうの料理講習会と思い軽い気持ちで参加しました。ところが、これが食生活改善や健康づくりに関する約30時間の講習を受けて認定される全国組織の食生活改善推進員の講習会だったのです。約1年かけて受講し、昭和61年から協議会に入り活動を始めました。内灘町では健康づくり推進員という名称です。これまでは生活習慣病予防等大人向けの事業が多かったのですが、数年前から朝食抜きやスナック菓子の取りすぎなどの子どもの食生活の乱れを実感し、これからは食べる楽しさと朝食の必要性を分かってもらい食育事業にも力を入れたいと思っています。またメタボ健診も始まり、ますます食生活改善推進員の必要性が増しており、行政からの期待も大きくなっています。

最近の具体的な活動としては、保育所、児童館での料理教室、男の料理教室や健康チェックコーナーでの味噌汁の飲みくらべなど……どれも好評でした。喜んでもらえると自分でも楽しく、やりがいを感じていますと話される池田さんは、「いつのまにか20数年経ってしまいましたが、これも健康でいられたことと、共に活動する仲間の助けと主人の理解のおかげ」と、まわりへの感謝を口にされます。物静かな方ですが、お人柄から長年しっかりと会を支えてこられた様子がうかがえます。

（安田 記）



健康推進員のみなさん（左端の方が池田さん）



※今回は下記の5つのサロンを紹介します。

「いいね向陽」

向陽台地区

青い空、ポカポカ陽気、満開の桜並木に包まれた向陽台グラウンドには宴会場がしつらえてあった。

「さあ、今から遊歩道へ行かれるもよし、
ここで座って話されるもよし、
お好きなようにしてください」

遊歩道には色とりどりの花、
かわいい園児の声、
小学生のあいさつに出会う。
いきいき元気百倍。

帰ってくると宝探しが待っていた。
熱いお汁とお弁当で「いただきま——す！」

♪いいね 向陽 花いちもんめ♪

の気分だった。

(4/15)



「サロン鶴西」

鶴西地区



「リンゴの唄」
や「岸壁の母」

をみんなで歌いながら、その当時の出来事や背景を片桐紀隆さんから聞いて、「ほー、そうなのか。」「私は、知らなかった。」と隣同士で話し、昔を懐かしんでいました。

(5/9)



「サロンひまわり」

大根布地区

和室でお茶をたしなみ、ホールでは内灘の踊りや健康体操でからだを動かしました。静と動、どちらも味がありおもしろかったです。

(4/25)



「サロン緑台」

緑台地区

下垂性ペチュニアの鉢植え！

花、土や肥料、鉢の選び方などの説明を聞いて早速植え始めまし

た。園芸一般の質問も含め鉢植え作業はあっという間に終わりました。

(5/13)



「サロン千鳥台」

千鳥台地区



お花見です。みんなで持ち寄った材料で、めった汁、おにぎり、そして花見だんご、お焼きも作ってとても楽しく話も弾みました。

(4/8)

★今年もクリーンビーチ内灘作戦！（毎月第4日曜日にやっています）

探しています

◇探しています!!

百人一首の札やオセロのコマが1枚でも2枚でも失せて不使用になっているものがありましたら寄付して頂けないでしょうか。

◆連絡先 社会福祉協議会まで

お知らせ

◇チャレンジ喫茶

6月下旬オープン!!

一杯の美味しいコーヒーとともに、障害者と地域との交流の場として文化会館にオープンします。

ぜひ、お立ち寄りください!

◇待ったなしの地球温暖化、なにができる?!

～次の世代へ緑の地球を手わたすために～

田中 優さんのお話

6月22日(日)午後2時～4時

内灘町文化会館3F視聴覚室

◇ステキにマイライフ

『自遊時間へようこそ』

マイライフを豊かにいきいきと人との関わりを楽しみながら・・・3回シリーズです!

1回目は6月28日(土)13:00～15:00

i-ねっと 青海 康男さん

申込み ボランティアセンターへ

ほほえみ

(編集後記)

新緑が青空に映え心和む季節です。

若い中学生のまっすぐな思いは一吹の風のごとく爽やかでした。人と人が助け合いながらも、寄りかからず、身の丈にあった活動

をさりげなく……。 (多田記)



各ボランティア活動への参加、行事への参加のお問合せ、お申し込みは内灘町ボランティアセンターまで(保健センター内)

TEL 076 (286) 6953